

警 察 署 協 議 会 議 事 録

協 議 会 名	令和7年第2回 宮城県泉警察署協議会
開 催 日 時	令和7年6月20日（金）午後3時から午後5時まで
開 催 場 所	宮城県泉警察署3階道場
出 席 者 等	1 協議会委員 ・ 出席委員～遠藤昇会長、安達高明委員、枡澤慶悦委員、大場信哉委員、南蘭愛委員、堀越康寛委員、齋藤直人委員 ・ 欠席委員～小川ゆみ副会長、安藤真史委員、大泉知保委員 2 警察署側 署長、副署長、刑事官、副参事、会計課長、警務課長、留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通課長、警備課長
議 事 概 要	別紙のとおり
備 考	

議 事 概 要	1 報告事項等 (1) 管内の治安情勢について ア 令和7年5月末における刑法犯認知・検挙状況について(刑事第一課長) 刑事第一課長から令和7年5月末における刑法犯認知・検挙状況について説明がなされた。 イ 令和7年5月末における特殊詐欺発生・検挙状況等について(刑事第二課長) 刑事第二課長から令和7年5月末における特殊詐欺発生・検挙状況、SNS型投資詐欺・SNS型ロマンス詐欺の被害状況について説明がなされた。 ウ 令和7年5月末における人身安全関連事案の発生状況について(生活安全課長) 生活安全課長から令和7年5月末における人身安全関連事案の発生状況について説明がなされた。 エ 令和7年5月末における交通事故の発生状況等について(交通課長) 交通課長から令和7年5月末における交通事故の発生状況等について説明がなされた。 オ 委員からの質問、意見、要望 【委員】 令和6年に自転車の交通違反に対する罰則強化が行われ、令和8年から「青切符」による取締りが始まると聞いているが、現状、自転車の歩道通行や逆走等が無秩序に行われていると感じている。 車の運転免許を取得するときは、運転技能より交通ルールを先に覚えることになるが、自転車は乗れるようになるのが優先されて交通ルールを覚えることが後付けになっている。 交通ルールが周知徹底されていないのに罰則を整備しても効果がないのではないか。 【交通課長】 毎月1日と15日を自転車交通安全の日として街頭活動を積極的に行っているほか、小学校等で交通安全教室を行い、自転車乗車時や歩行時の交通教育を実施している。 子どもたちへ交通ルール等を教えるのは、学校だけではなく、各家庭で教えることも大切である。
---------	---

議 事 概 要

自転車乗車時のヘルメット着用率も依然低い状態なので、学校近くなどでの広報啓発活動を継続して実施していく。

【委員】

自転車だけが罰則強化されていると感じるが、歩行者のながら歩行は対策をしないのか。

【交通課長】

歩行者にも、「交通の教則」で前を向いて通行しなければいけない決まりがあり、街頭活動時に指導を実施している。

自転車と歩行者が関わる交通事故が起きた場合、自転車が加害者になる場合が多いことから、自転車の交通違反に伴う罰則が強化された。

【委員】

安全を守るために罰則が整備されるのは分かるが、交通ルールを周知させてからでなければ、効果がないと思う。

義務教育の必須科目等で交通ルールを学ばせれば、交通ルールが浸透するのではないか。

また、自転車のルールブック等を自転車販売店に置き、購入者に配布すると交通ルールが周知されると思う。

【委員】

小学校付近の歩道の白線が消えており、車道と歩道の区別が分からなくなっている。

児童を守るためにも、学校周辺等を見てもらい、区役所の道路管理担当者と情報共有してもらいたい。

【委員】

多くの外国人学生も自転車を利用しているが、日本の交通ルールがあまり理解できていないと感じる。

今後、来日外国人を対象とした対策をする予定はあるか。

【交通課長】

外国人向けの交通ルールパンフレットも作成しており、各種学校で配布して周知させている。

【委員】

行方不明事案の内容や行方不明者の発見率を教えてもらいたい。

【生活安全課長】

認知症高齢者が行方不明になる場合が多いが、ほとんどが発見されている。

その他、外国人労働者が稼働先から行方不明になる場合や未成年者の行方不明等があり、適宜対応している。

(2) 警察官募集活動について

警務課長から、警察官募集活動について説明がなされた。

【署長】

10年前に比べると受験者は大幅に減少している。

警察官は、小学生ではなりたい職業ベスト3に入る職業だが、年齢を重ねる毎に仕事に求めるものが「憧れ」から「やりたい仕事」に移行していくためか、中学生や高校生になるとベスト10にも入らなくなる。

警察官になるのは難しいと思われがちだが、受験年齢上限も引き上げられ、一次試験も約6割が合格しているなど、警察官になりやすい時期でもあることから、御家族・御親戚、各地域の受験適齢者への声掛けをお願いしたい。

【委員】

一般企業と比べると新卒者の給料が低いと感じる。

就職人口が減っている現状で、待遇や給料が低い会社に入りたいとは思わないと思う。

各種予算の問題もあると思うが、警察にしかできない仕事のアピールや警察官が足りなくなると治安が維持できなくなるくらい言わないと集まらないのではないかな。

【委員】

学校の部活動等では、受験生への直接的なスカウト活動を行っているが、警察ではスカウト活動は行っていないのか。

また、年齢が低いほど将来のビジョンが見れず、何を頑張れば良いのか分からない場合があり、進路指導担当者のアドバイスなどが大きく影響すると感じている。

募集活動をする上で、各種学校や進路指導担当者への働きかけも有効だと思う。

【刑事官】

警察組織も多種多様な業務があり、システム開発やサイバー犯罪捜査等では専門的な知識が必要になることから、各種専門学校への声掛け・学生に対する説明会等を実施している。

また、一般企業に勤めている方が仕事のやりがいを求めて警察に再就職する場合もあることから、幅広く募集広報活動を実施している。

(3) SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺に対する取組み

生活安全課長から、SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺に対す

議 事 概 要

る取組みについて説明がなされた。

【委員】

特殊詐欺等で、だまされて振り込んだ先の口座からお金を取り戻すことはできないのか。

【生活安全課長】

振り込んだ直後等、現金が口座に残っているのであれば取り戻せる可能性はあるが、「出し子」と呼ばれる被疑者の1人がすぐに口座から現金を引き落とすので、口座に現金が残っていることは極めて少ない。

【委員】

現金を引き落とすのにA T M機を使うのであれば、防犯カメラ等に姿が映ると思うが、「出し子」を特定することはできないのか。

【生活安全課長】

犯人側も、防犯カメラに写ることを前提に行動しており、帽子・サングラス・マスク等を身に付けて特定されないようにしていることから、防犯カメラだけで犯人を特定するのは難しい。

【委員】

警察で作成している広報紙等で色々な情報を共有していただき大変助かっている。

現在は、各地域で回覧板等で周知をしているが、各家庭に1枚配布していただければ、電話機の近くなどに貼っておけるので、被害が少なくなるのではないかと。

【生活安全課長】

被害発生が多い地域を「重点地域」に指定し、同地域の高齢者世帯を集中的に巡回連絡を行い、具体的に注意していただきたい点を説明・指導している。

【委員】

被害防止の話を聞くと、ほとんどが水際対策の防犯指導で終わっていると感じる。

警察だけでできる対策ではないが、川上対策として、指紋をかざさなければA T M機で現金を引き落とせないようにし、マイナンバーカードに指紋登録を紐付ければ、A T M機を使用した被害が減るのではないかと。

(4) 熊の出没状況、対処方法について

生活安全課長から、熊の出没状況、対処方法について説明がなされた。

2 次回開催日程について（警務課長）

次回の泉警察署協議会は、令和7年11月ころに開催したい。